

【報告】大網白里市総合戦略について

概要

本市では、令和7年3月に「第3期大網白里市総合戦略(計画期間:令和7~12年度)」を策定し、地方創生に取り組んでおります。

現在の取り組みについてご報告いたします。

1 地方版総合戦略の進捗状況について

(1)数値目標の達成状況

令和2~6年度は「第2期大網白里市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、地方創生に取り組みました。

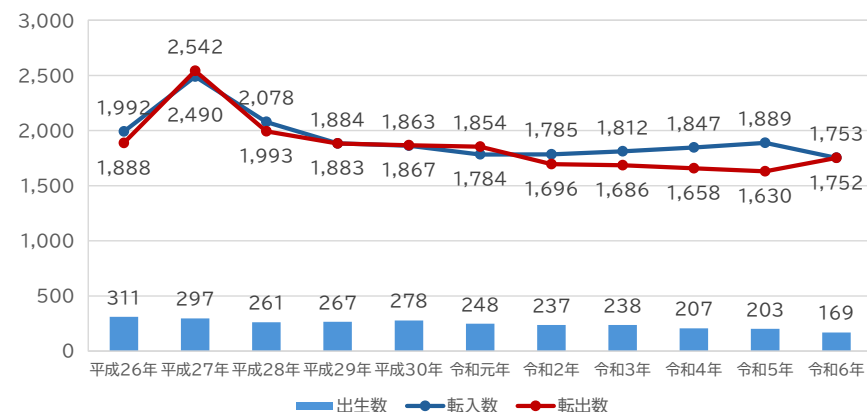
数値目標に対する結果は以下のとおりです。

成果指標		策定時点	目標値	結果
基本目標1 しごとをつくり、 安心して働ける 場所をつくる	就業人口	22,602人 (平成27年)	増加	22,522人
	従業人口	11,916人 (平成27年)	増加	12,396人
基本目標2 にぎわいと活力 にあふれた新しい ひとの流れを つくる	年間転入者数	1,863人 (平成30年)	1,900人以上	1,753人
	年間転出者数	1,867人 (平成30年)	1,800人以下	1,752人
基本目標3 若い世代が住み たくなる出産・ 子育て・教育環 境を実現する	年間出生者数	278人 (平成30年)	300人以上	169人
	合計特殊出生率	1.23 (平成30年)	上昇	0.89
基本目標4 誰もが安全で安 心なくらがで きる魅力的な地 域をつくる	健康づくりに対する満足度	2.82 (令和元年度)	上昇	2.83
	まちづくりへの参加協力 意向がある割合	48.3% (令和元年度)	上昇	-
	防災体制に対する満足度	2.52 (令和元年度)	上昇	2.62

※「まちづくりへの参加協力意向がある割合」はアンケート調査項目の見直しにより未調査。

(2)結果について

- 目標値を達成した指標は4/9項目でした。
- 本市の社会動態(転入・転出)については、令和2年から転入超過に転じ、令和5年には259人の転入超過となりましたが、令和6年から均衡状態となっています。
- 平成26年では311人だった出生者数は年々減少を続け、令和6年は169人となっています。現在の本市の人口の年齢構成から、人口の自然減少が加速している状況です。
- 今後は、「年間転入者数」、「年間出生者数」及び「合計特殊出生率」について、改善に向けて重点的に取り組んでいく必要があります。



2 地方創生に向けた現在の取組について

本市では地方創生の実現に向け各種施策を展開しておりますが、上述の結果を踏まえ、今後展開していく取り組みを2事業抜粋してご報告いたします。

① 東大あぐりえこん。× 大網白里市 地域おこしプロジェクト

(1)事業概要

東京大学農学部の学生団体「東大あぐりえこん。」が、大網白里市での援農ボランティアをきっかけに出会った“まちの隠れた魅力”を、より多くの人に届けるべく、地域おこしプロジェクトを立ち上げました。

本プロジェクトでは、東大あぐりえこん。と大網白里市が連携して、市内に眠るまちの魅力を発掘し、その魅力を観光コンテンツや特産品などのカタチにして、全国に発信できる取り組みを進めていきます。

その第一弾として、全国から集まった学生たちが、市内の農家や商工業者の方々と協力しながら、学生のアイデアとまちの魅力を掛け合わせ、大網白里市の新たな観光コンテンツの創出を目指す「地域共創プランコンテスト」を令和7年8月に開催しました。

令和8年度も、東大めぐりえこん。の学生たちが中心となり、大網白里市と連携し、プランの実現に向けて、継続的に取り組みを進めていきます。



- 地域共創プランコンテスト … 学生×第一次産業＝∞をコンセプトに、全国から参加した学生の柔軟な視点により、大網白里市を盛り上げる事業プランを作成し、市に提案していただきました。
- 参加学生(計20人、1チーム4人)は事前訪問1日(8月5日)と、3泊4日(8月20日～8月23日)の泊まり込みのフィールドワークにより、チームごとに事業プランを作成しました。
- 最終日に各チームがプランを発表し、市長をはじめとする地域の方々や地域おこし有識者による審査をコンテスト形式で実施しました。

(2)今後の展開

令和8年度は、「まちづくりプラットフォーム」を立ち上げ、市内外から若者がまちづくりに参画できる機会・場を構築し、関係人口の創出・拡大に取り組む予定です。

② 企業誘致の推進

(1)事業概要

働く場・雇用の創出、持続可能な財政運営に向け、本市への企業等の立地を促進するため、現在、下記の取組を進めています。

- みどりが丘市有地の有効活用、圏央道大網白里スマートインターチェンジ近接エリアの土地利用に関するサウンディング型市場調査を実施しました。
 - ▶ みどりが丘私有地は、現行の地区計画で制限されている住宅系の土地利用を含めたあらゆる可能性について調査・研究を進め、当該市有地の有効活用に繋げていくため、民間事業者の皆様から当該市有地に関する事業発案の参考となるようなご意見やご提案を求めました。(参加:3社)
 - なお、みどりが丘市有地の一部について、進出に向けた相談があったことから、現在、公募型プロポーザル方式により、みどりが丘市有地地活用事業者の選定に取り組んでいます。
 - ▶ 圏央道近接エリアは、圏央道大網白里スマートICに近接しており、産業系の土地利用などが期待されていましたが、現時点で実現に至っていないことから、当該エリアにおける産業系の土地利用に関する市場の需要動向等について意見等を求めました。(参加:3社)

- 大網白里市に進出を希望する企業等と、市内の未利用地を有効活用したい土地の所有者等をマッチングさせる「適地バンク制度」を開設しました。現在、4件の登録があります。



- 令和7年3月をもって閉園した白里幼稚園の利活用を図るため、令和7年2月より千葉県ホームページで物件情報を公開してきました。複数社から進出に向けた相談があるなど、一定の需要が確認できたことから、現在、本物件の利活用を担う事業者について、公募型プロポーザル方式による選定に取り組んでいます。

(2)今後の展開

- みどりが丘、白里幼稚園の案件について、公募型プロポーザルの結果を踏まえ、優先交渉権者と市有地等の利活用に向けた準備を進めます。
- 県の補助金を活用して、圏央道を中心とした市内での産業用地整備の可能性調査実施を予定しています。

まちづくりプラットフォームの概要 (若者のまちづくりへの参画)

1. 事業の目的

市内外から若者がまちづくりに参画できる機会・場を構築することにより、

- ① 大網白里市の「未来の当事者＝担い手」を育成する。
- ② 大網白里市の「関係人口」を創出する。

※ PFの運営は、東大めぐりえこん。が行う。

2. 背景・課題

- 中高年齢が主体のコミュニティが多く、若者が気軽にまちづくりについて考え、話し合える場が少ない。
- 中高年齢や小学生以下の子どもに比べ、中学生以上の若年齢を対象とした施策や支援が不足している。

3. 目指すべき方向性

- 若者が、幅広い属性の大人達とともに、それぞれの立場や所属を超えて、大網白里市の未来を考え、交流し、つながる場を創出する。
- 対談と共創により、今までに無い、まちの様々なニーズを反映した施策を創出する。

※「ふるさと住民参画制度」との連携・活用も検討

4. 事業の効果 (総合戦略との関連)

【基本目標3-③ 将来を担う子どもたちの育成】

- ・中学生を対象としたワークショップやイベントを開催し、まちづくりへの意識を醸成
- ・教育面での子どもたちの成長に貢献できる施策を創出(寺子屋プロジェクト等)

【基本目標1-③ 読書・読書の推進】

- ・若者と市内の農家・商工業者等の交流により、新たな事業アイデアを創出
- ・プロジェクトを通して、大網白里市に興味を持った若者の起業やU11ターンを促進

【基本目標4 誰もがくらしやすい魅力あふれる地域をつくる】

- ・市民同士が、年齢や性別等の属性に関係なく、参加・交流できる場を創出
- ・市民の様々なニーズをタイムリーに把握し、施策のブラッシュアップを実現

5. 事業スケジュール

年度	主な内容	目標
R8	●プラットフォームの運営(会議) ●単一属性別のワークショップ等の開催	●まちづくりに参画する若者の増加 ●関係人口の増加
R9	●プラットフォームの運営(会議) ●属性横断的なワークショップ等の開催	●属性横断的なコミュニティの育成 ●各種施策への市民ニーズの反映 ●新たな事業アイデアの創出
R10	●プラットフォームの自立・自走化 ●恒久的な交流の場として機能させる	●世代を超えて市の未来を考える コミュニティの完成

※プラットフォームで出された意見等を総合計画、総合戦略にフィードバック

③ 空き家対策と移住・定住の推進

(1)事業概要

本市では、空き家バンク制度の運用など、空き家対策を推進していますが、空き家バンクの要件を満たす物件が少なく、登録物件が少ない状況にあります。

一方で、移住に関する相談では「空き家バンク」に関する問い合わせが多く、ニーズに応えることができていない状況です。

そこで、生活環境の保全と移住・定住の推進を目的として、令和 8 年度から新たに2種類の補助金を創設する予定です。

○ 空き家対策総合支援事業補助金

市の空家対策計画に基づき、新たな空き家の発生を抑制するため、改修費用の一部を補助します。

○ 移住支援事業補助金

市の空き家バンクに登録されている物件を購入・賃借して移住する方に対し、必要な費用の一部を補助します。

(2)今後の展開

現在、議会の承認前で正式に決定していないため、要綱など準備を進めている状況です。

令和 8 年度の補助金の活用状況等を踏まえ、今後の展開について検討してまいります。

3 地方版総合戦略の今後について

現在、国においては、令和 7 年 12 月に新たな総合戦略である「地方創生に関する総合戦略～これまでの地方創生の取組のフォローアップと推進戦略～」を閣議決定しています。

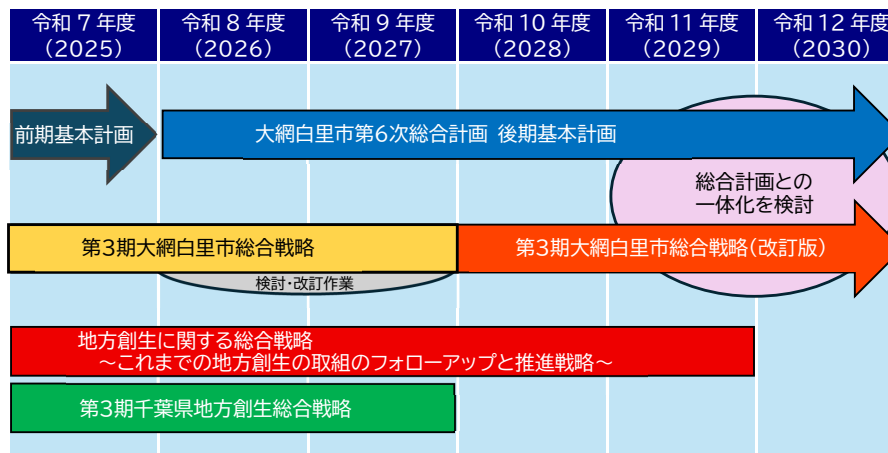
市町村においては、国及び都道府県の総合戦略を勘案し、地方版総合戦略を策定するよう努めなくてはならないとされています。

本市総合戦略の改訂に関する検討状況をご報告いたします。

(1)改訂スケジュール(案)について

本市では、令和 7 年 3 月に国及び千葉県の総合戦略を勘案し、「第 3 期大網白里市総合戦略(計画期間:令和 7～12 年度)」を策定したところです。

令和 7 年 12 月に新たに策定された国の総合戦略を勘案し、早期に改訂することが求められておりますが、現時点では、国や千葉県の動向を注視したうえで、令和 8～9 年度に改訂作業を行うことを検討しています。



(2)改訂にあたって

改訂作業にあたっては、令和 6 年度の会議でご指摘いただいた点を踏まえ、起草段階から皆様への意見照会を行ってまいりたいと考えております。

現時点で詳細は未定ですが、改訂スケジュールの見通しが立ち次第、改めてお知らせいたします。

ご多忙の折大変恐縮ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。